

2009年7月21日

報道関係各位

## 高島屋でアメリカン・エクスプレス・トラベラーズ・チェックの販売開始 ～24時間オンラインで購入可能、店舗での商品券交換サービスも開始～

株式会社 高島屋(本社:大阪府大阪市)とアメリカン・エクスプレス(本社:米国、ニューヨーク)は、この度、販売代理店契約を結び、高島屋が運営するホームページ(www.takashimaya.co.jp/)上において、7月22日より、アメリカン・エクスプレス®・トラベラーズ・チェック(以下、T/C)の販売を開始いたします。また同時に、高島屋主要店舗でのT/Cの「高島屋商品券」への交換サービスを開始いたします。

販売されるT/Cの券種は、300米ドルパック(\$100 x 3)、500米ドルパック(\$50 x 10もしくは\$100 x 5)、1,000米ドルパック(\$100 x 10)の4種類。T/C購入をご希望されるお客様は、高島屋のホームページ上にあるリンクにアクセスし、簡単な会員登録をしていただくことにより、24時間PCからT/Cの購入申込みが可能となります。オンラインでの購入申込み後は、代金を全国の銀行やATMを通し高島屋宛に振り込むことで購入手続きが完了します。

また、高島屋は、一部通貨を対象として、日本を訪れる海外旅行者でアメリカン・エクスプレスのT/Cをお持ちの方や、海外旅行後に余ったアメリカン・エクスプレスのT/Cをお持ちの方に対して、T/Cの「高島屋商品券」への交換サービスを開始します。T/C交換サービスは、高島屋の主要5店舗(東京店、新宿店、横浜店、大阪店、京都店)において、交換時のT/C買取レートに1円をプラスしたレートで、高島屋でのお買物に利用できる商品券に交換することができます。

※ 東京店、京都店では従来通り、T/Cを現金(日本円:T/C買取レート+手数料)にも換金いたします。

今回の業務提携により、アメリカン・エクスプレスは販売チャネルおよび換金サービス網を拡大することで、T/C利用者への利便性を高めます。一方で、高島屋は、ネット会員の新規獲得を見込んでいます。

アメリカン・エクスプレスのグローバル・プリペイド事業部門プレジデント、アルペッシュ・チョクシ(Alpesh Chokshi)は、今回の提携を受け、次のように述べています。「日本の小売業界をリードする高島屋と今回のような業務提携を結ぶことを大変喜ばしく思っています。当社のT/Cは今年で生誕118年を迎え、世界中で長年に渡り愛用されてきた商品です。今回の提携を通し、豊かなライフスタイルを常に追求する両社の顧客層に対して、利便性の向上を図っていきます。」

### アメリカン・エクスプレス・トラベラーズ・チェックについて ([www.amextc.jp](http://www.amextc.jp))

アメリカン・エクスプレス・トラベラーズ・チェックは、1891年に世界で始めて開発・発行された旅行小切手です。独自のネットワークを基盤に、世界中で高い安全性と流通性を持つ商品として、世界中の旅行者に長年に渡り愛用されています。日本では、6つの通貨(米ドル、ユーロ、豪ドル、加ドル、英ポンド、日本円)建てのT/Cが提携金融機関、ゆうちょ銀行、郵便局、空港、ウェブサイトで販売されています。

### **アメリカン・エクスプレスについて**

1850年(嘉永3年)米国ニューヨーク州にて創立。現在クレジットカード、トラベラーズ・チェック、保険、旅行手配業務など、総合的な金融、および旅行サービスを世界中で提供しています。日本では、1917年(大正6年)に横浜に支店を開設し、世界に広がる独自の加盟店ネットワークと、世界140カ国以上のトラベル・サービス拠点を通じ、個人および法人顧客に対し最高品質のサービスを提供しつづけています。また、日本最大級の加盟店網を持つJCBとの加盟店業務提携により、従来からのホテル、レストランや小売店などに加え、公共料金からスーパーマーケット、ドラッグストアなど日々の生活で利用できる加盟店が拡大しています。

### **株式会社 高島屋について ([www.takashimaya.co.jp/](http://www.takashimaya.co.jp/))**

1831年(天保2年)京都で木綿商(屋号『たかしまや』)として創業。1919年(大正8年)に株式会社設立。現在は国内20店舗(グループ含)、海外3店舗で百貨店を展開。